



地域の皆様、こんにちは。

校長として二年目を迎えた廣瀬忠明でございます。よろしくお願いいたします。
地域の皆様には、日ごろ、本校の教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

本校は昭和55年(1980)に開校して40年目を迎える知的障害教育部門の特別支援学校で、小学部・中学部・高等部を設置しております。立地は、大縄橋バス停、長瀬バス停どちらからも徒歩10分程度で、渋田川と鈴川に挟まれ、遠くには富士山を仰ぎ、土手の桜やすみれ、ススキやコスモスなどの草花などから季節の移り変わりを感じる素敵な場所にあります。

今年は満開の桜の下、新入生48名、転入生3名を迎え、児童生徒数144名で新年度がスタートしました。入学式の当日は不安を抱えていた子どもたちも、学校に慣れ毎日元気よく登校しています。

小学部・中学部の児童生徒はスクールバスや保護者の送迎で、高等部の生徒は公共交通機関等を利用して通学しています。狭い道路を一人で歩いての登校もありますが、地域の皆様の見守りの中、大きな事故なく過ごすことができています。地域の皆様が子どもたちを温かく見守ってくださっていること、また、関係機関の皆様との連携が充実していることなど本当に感謝しています。ありがとうございます。

さて、今年度も本校が目指す「地域に開かれた明るく楽しい活力ある学校」の実現に向け、小中高一貫したキャリア教育の実施やこれまで積み重ねてきたコミュニケーション力の向上に向けた指導と支援を継続的に行い、一人ひとりを大切にしたい学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。取り組みとして校長からの三つのお願い」を呼び掛けています。

- 一 あいさつをしましょう。
- 二 ありがとうの気持ちを大切にしましょう。
- 三 自分も、周りのみんなも、大切にしましょう。いじめは絶対にいけません。

子どもたちだけではなく、我々教職員が率先して学校全体で取り組んでいく所存でございます。これからのめざす社会は、障害のあるなしにかかわらず、誰もが地域の中で自分らしく生きていくことができる共生社会です。本校のミッションの一つに共生社会の実現に向けたセンター的機能の発揮があります。本校の使命をしっかり受け止め、この御殿の地で、地域の皆様と一緒に、共に生きる社会の実現に向けて努力してまいりますので、引き続きこれまでと変わらぬご支援を賜りますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

湘南養護学校の特色ある学習について紹介します

本校では、音声での発信が難しかったり、視覚的な指示が有効であったりする児童生徒も在籍しているので、授業名や日常でよく使う単語の身振りサインとシンボルマークを設定しています。獲得したコミュニケーション手段を卒業まで継続して使えるよう、全体で取り組んでいます。

❁身振りサイン

小中高でほぼ毎日しているものです。学部が変わってもスムーズに移行できるように、また地域から転入・入学した児童生徒ともコミュニケーションがとれるよう取り組んでいます。



上図は、設定された身振りサイン・シンボルマークの一部です。教員が学校生活の中で使用することで児童生徒も少しずつ覚え、使えるようになっていきます。身振りサインは手話とは違って、指先がうまく動かさなくても獲得できるように考えられています。ご家庭でも身振りを使って「〇〇が楽しかった」などとお話ししている方もいます。

その他のシンボルマーク・身振りサインは湘南養護学校のHPで公開していますので、そちらをご覧ください。

❁シンボルマークはこのようなところで使われています

シンボルマーク

授業名などを簡単なイラストで表したものを共通言語として使っています



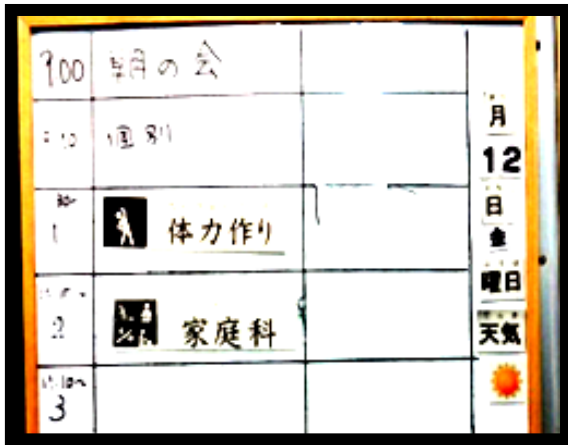
児童生徒が見通しを持って学校生活を送れるよう、その日の予定をクラスに掲示しています。

授業名の横にはシンボルマークと活動場所の写真を掲示し、文字が読めなくても分かるようになっています。



小学部のスケジュール（例）

- 大きなひらがなで読みやすい工夫がなされています。
- シンボルマーク、授業名、活動場所のみのシンプルな内容にしています。
- 活動場所は写真で提示しています。



高等部のスケジュール（例）

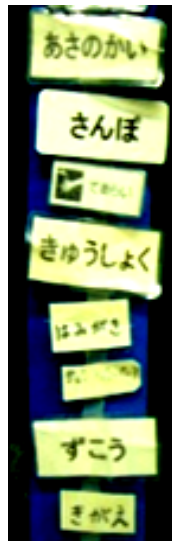
- 漢字にふり仮名表記で多様性をもたせています。生徒が記入することもあります。
- 日付や日直、授業時間などを追加しているクラスもあります。
- 活動場所は個別に写真で提示することもあります。

クラス全体のスケジュールとは別に、個人のスケジュールを使用している児童生徒もいます。カバンの用意や係の仕事、トイレのタイミングなど、より個人の実態に応じた活動内容、視覚的な配慮が可能です。

①



②



①はシンボルマーク、②はひらがなを中心としたスケジュール表です。この他に、授業名の横に場所の写真を入れた物や一回の情報量を減らすために一日をいくつかに分けた物など、個人の实態に合わせて作成しています。

多くの場合、活動が終わると該当のカードをはがし、セットになった受け皿へ入れるようにしています。そうすることで次に行うことが一番上になるようになり、次に何をしたらよいかがとてもわかりやすいのです。

❖その他にも次のようなコミュニケーションの道具を使って学習をしています

カード

写真やイラスト、文字のカードを相手に渡すことで気持ちを伝えられるように練習しています。



なかにわ



いく

=『中庭に行きたいです。』

スイッチ（トーキングブリックス）

録音・再生ができる機器です。「終わりました」と録音しておき、活動が終わったら押すなどの使い方があります。

終わりました



ドロップトーク

iPad など向けのアプリケーションです。イラストが搭載されており、撮影した写真の追加も可能です。イラストを選択して文章を構成し、相手に気持ちを伝えることができます。

音楽
楽しかった



☆ 湘南養護学校 公開研修会 報告 ☆

「感覚統合の視点から見た発達段階に応じた支援」

講師 よこはま港南地域療育センター 作業療法士 松本 政悦 氏

梅雨の合間の蒸し暑い日が続いた7月下旬、松本 政悦氏に来校して頂き不器用な子どもの理解や強みを生かすにはどうしたらよいか、などを動画や体を動かしながら分かりやすい資料と共に説明して下さいました。その中で、コミュニケーションに必要な脳の働きや子どもの苦手さなどをどう支援したらよいかなど日々の教育現場で役に立つ事例を多く聞くことのできる研修となりました。

「ペアレントトレーニングについて」

～かながわ A(エース)の取り組みから～

講師 神奈川県立中井やまゆり園地域支援課

神奈川県発達障害支援センターかながわ A(エース)

第2回目の夏の公開研修会では、実際に、2人、3人組になってロールプレイングに挑戦しました。大人と子どもそれぞれの立場を演じることで気持ちを理解する貴重な体験をすることができました。子どもの行動に焦点を当てて特徴を理解することや、適切にほめることで子どもの自尊心が高まり、好ましい行動が増えることなどについて説明して下さいました。また、今日失敗しても、明日からがんばれば大丈夫という心強いメッセージをいただきました。余裕を持ちながら取り組んでいけたらよいですね。

❀ 学校紹介 ❀

本校における取り組みや各学部の行事などの様子をお伝えいたします。学校ホームページをご覧いただくと、日課や、教科学習の様子、それぞれの学部のねらいなど、湘南養護学校での児童・生徒の様子を、より身近に感じていただけることと思います。

〒254-0061

神奈川県平塚市御殿 4 丁目 14 番1号

TEL: 0463-34-7244

FAX: 0463-34-8707

E-MAIL: shonan-sh@pen-kanagawa.ed.jp

URL: <http://www.pen-kanagawa.ed.jp/shonan-sh/index.html>

湘南養護学校 交通アクセス

- ・平塚駅より神奈中バス 7番ホーム乗り場
「伊勢原駅南口行」
大縄橋下車徒歩 10分 (89,90,91,94 系統)
- 大縄橋下車徒歩 12分 (88,92,93 系統)
- ・伊勢原駅より神奈中バス「平塚駅行」
大縄橋下車 10分 (89,90,91,94 系統)
- ・秦野駅より神奈中バス「平塚駅行」
長瀬下車 10分 (71,74 系統)

